

市長との意見懇談会（教育・文化・スポーツ・合宿分野）

5月28日18：30～

合併した後、名寄市として1つの文化祭という意見もあったと思うが、従来通り名寄・風連それぞれの文化祭としてやってきたのがよかったと思っている。風っ子プロジェクトを推進し、年に3回ほど音楽中心の事業を通して風連地域の文化振興を進めている。

風連・名寄で独自に地域の伝統があつて当然だと思うが、名寄市の文化を培っていくためには名寄・風連が交流しないと新しいものが生まれてこない。名寄市の文化祭、風連町の文化祭にも個人ではなく団体として参加していく交流が必要である。

スキーなどを中心にスポーツ合宿を推進しながら全国大会を誘致している。これが人づくり元気づくりにつながっていくのかなと思う。スポーツは健康にも役に立つ。ジュニア育成について、子供たちを大事に育てるとというのが求められる。

行革の関係だと思うが施設使用料手数料の見直しで減免措置がこれまでの10割から5割になっており、そのあたりの経緯を知りたい。施設利用を減免して誰しものがスポーツを楽しめる環境づくりが必要と個人的には考えている。

毎月1回の活動を基本としているが大学生には夏休みなどお手伝いをさせていただいている。カメラなどの機器や望遠鏡なども1度買っても、2、3年でより高性能なものが出たりするので消耗品・備品の更新を検討して欲しい。

施設の利用件数は増えているが、利用人数が減っている。施設の利用には応分の負担をいただくことで致し方ないのかとは思ふ。冬季スポーツ拠点化に向けた取組として、阿部さん豊田さんが小学校を回って運動方法の指導や、教職員への指導含め基本的な部分をやっていただいている、スポーツ普及への期待感を持っている。冬季スポーツ拠点化は市の目玉事業であり、これまでやってきたことを進めていけばまだまだ人を集められると思う。市民周知も含めて更なる広がりを期待している。

市内のサークル数が増えていることから学校の体育館を借りるのに苦勞している。廃校の体育館の利活用などについて検討いただければ。

名寄は2子3子の子供が多い。名寄は子供を産みやすい・育てやすいのではないかと思う。学生が活動しやすく、お母さん方が子どもを生みやすいまちとなるよう、名寄の特徴を出していけないか。

図書館の児童室は畳2畳分のスペースしかないが。それでもすごくいい場所を作っていたと思うし、青年会議所の計画で街の中に図書館という計画があつてすごくいいと思った。第3次総合計画くらいなるかもしれないが新しい図書館を作って頂きたい。

名寄はジュニア育成の効果が表れ、全国や世界で活躍するようになってきている。カーリング施設はできれば通年型がいい。サンピラー交流館は夏は無料で開放しているのに、冬だけ有料というのは不公平ではないか。北海道立のカーリング施設であるため、要望をお願いしたい。

士別で地域計画を作っているという新聞記事があつた。総合計画中期計画は間に合わないと思うが、住民が自分の地域をどうしたらいいかという話し合う機会を持つことが大事であり、その一つとして地域計画策定するというのも有効かと思う。

国道40号線の市立病院側に高齢者介護住宅、放課後に子どもたちが遊べる施設や市立大学サテライトキャンパスを作り介護や保育の実習が可能な施設整備を行い、コンパクトシティを目指してはどうか。

市の財政が厳しくなるのであれば、コンパクトシティの取組も大胆に実施する必要がある。また、若手青年部などが起業するなど、民間がやる気を出しみんなでやらないと厳しいと思う。

コンパクトシティなどまちづくりを進めるためには、同じ認識を持った人たちが集まり議論する場・機会を作ってほしい。暮らしづくり元気づくりは各分野でやっていけるが人づくりは全分野でどうするというのを官民一緒になって考えていく必要がある。また、土地提供者をまちづくりに引っ張り込まないと机上の空論。地主をまちづくりに巻き込み検討していく必要があり、具体的な計画と並行して双方一緒に進めていく必要がある。

生活していて一番の問題は高齢化し、メンバーが固定化されている町内会関係だと思う。何か町内会に対する助成・支援がないか。風連では年にとって車が運転できなくなったら、買い物行けなくなり困ると思う。インバウンドはインターネットを活用して観光をすることから、インターネットで検索されるようにホームページを整備する必要がある。

商業の活性化のためには人が集まる施設や施策が必要だと思う。商業者自体に体力がなく即効性がある事業ができない状況であり、賑わいを作るために中心部にどんな施設をつくれればよいかを考えてほしい。

空家は個人財産ではあるが、危険な建物は解体して空き地するとともに、飛び飛びで空き地ができているので集約して、中心部にドーナツを作るくらい大胆に空き地を作ることができれば土地が流動化する。大きな施設を作れるスペースを確保して欲しい。まちの中に空間を集めるために、土地の売買は難しいと思うが、まちづくりのために理解していただき、土地の交換または貸し借りできないか。思い切った区画整理が必要だと思う。

観光＝イベントで人集めというイメージだが、市民の満足度、近隣自治体住民の満足度には寄与するが、近隣自治体からの集客では経済効果は少ない。名寄の強み（天文台やエンレイ、スキー環境など）を活用する必要がある。人づくりということで大学生、高校生に楽しいまち住みよいまちと印象付け、名寄はいい街だと話してもらえたらPRになるし市民の誇りに繋がる。住んでいる人が住みよいまちと言えるようなまちづくりを願う。

大学の公開講座の周知と科目と講師などを公表し、社会人がもっと大学に関わる機会を増やして欲しい。学生にとっても社会人との交流があることはいいことではないだろうか。リカレント教育は大学の生き残り戦略としても有効である。中心市街地にリカレント教育を中心としたサテライトキャンパスという案もいいかもしれない。

子どもが長く遊べて、安心して預けられる施設があればいいと思う。風連地区は公園少なく、遊具も少ないので改善が必要と感じる。

年寄りが住みかえられる公営住宅があるといいと思う。風連地区のQ マート西側の空き家・空き地を、商店と高齢者施設などが合わさった風連バージョンのものがあってもいいのかと思う。

名寄市には大学、自衛隊、総合病院が立地し、圏域の中心であることからこの強みを活かす必要がある。また、安心して子育てできる環境が人口減少対策の一助になると思っている。冬季スポーツ拠点化の推進は交流人口の拡大、雇用や産業創出に期待ができる。宗谷本線活性化は名寄市が中心となった活動に期待している。公営住宅は抽選であるが、空き家対策などにより若者が名寄市に住める支援があればいいと思う。

商店街のアーケードの管理は持ち主にまかせるのではなく、行政支援できないか。また、空き家について、雪で倒壊している家も市内にはあり、管理放棄されていて物置が倒壊しているものもあることから現状把握し、管理できていないものに指導してほしい。

冬季スポーツ拠点化の取組・生涯スポーツの一環ということで高齢者のスポーツ振興を支援してはどうか。スポーツ振興で健康になり医療費削減、集い交流することで心の健康、名寄は高齢者に優しい街ということにもなる。高齢者に優しい街をアピールすれば名寄市に定住する人も増えると思う。

子どもの遊び場であると同時に、年配の方が散歩の途中で休めるようにベンチや木陰があり、水飲み場とトイレが完備された児童公園があるといい。

保育所は19時半までなのに公設児童クラブは18時半、民間は弾力的に19時の開設時間である。小学校にあがると預けられる時間が1時間短くなることは親の負担に繋がるので保育所と同じ開設時間にして欲しい。

名寄市の除雪は素晴らしいが、高齢者が冬に車道を歩いていることを目にするので、通学路以外も除雪してほしい。

玄関先（間口）の除雪について相談・依頼が多かったが受けることができなかった。町内会の中で仕事ができる方などがいれば報酬を支払い依頼したいが人手不足で難しい。近所の人協力が必要だが高齢化が進み、これまで頼めていた周りの人にも頼めなくなっているようである。

担い手は減っても高齢者は減らない時代になってきているので、どういう形で支える仕組みを作っていくかというのを総合計画にも盛り込んでほしい。団塊の世代は自分の好きなことはやりますが、決まりに縛られることを嫌う方が多いようであるが、短時間でも地域で元気に活動してもらえれば。

支え合いについて、何人の高齢者を何人の人で支えるかと考えると、自分たちの力だけでは追いつかない状況を理解していないと議論が進まない。低所得者が除雪費用を捻出できないとなると、助成金などの支援が必要となる。地域の方だけでやっていくのは難しいと感じている。子育て世代の人の活躍の場と考えると、土日と夜間に安心して子どもを預ける場がないことが、経済活性化のブレーキになっている面があると思うので、高齢者ではなく子育て中の女性の活躍できる環境整備・基盤整備が重要かと思っている。

除雪については一定の収入がある方には自己負担をお願いしているが文句が出る。収入制限の限度額をあげるか、町内会に補助金を出して若い人たちに手伝ってもらうなどしかないかもしれない。単身高齢者が増えている中でシェアハウスみたいにして共同生活で生きがいを見出す生活形態が必要になっているのではないかと。一人でのより安心感もある。

戸建て住宅を市に寄付すれば公営住宅に優先的に入れるなど検討できないか。寄付された物件はケアハウスや障がい者施設として使うことができれば家も壊さずに済む。

除雪以外にも災害の問題も含めて、全安心な生活を送るためのサポート体制を構築するためには、元気な高齢者はたくさんいてどう巻き込んでまちづくりをするかが重要になる。活動するうえで重たくなくと、拘束されたくない、気軽に参加したいという声が聞こえる。

市立病院が高齢者の安心感につながっていると同時に、小児科医が常勤というのは地域にとって心強い。子育て世代の人が地域に根付いて働く機会が経済活性化につながると思う。日曜・祝日の預ける場所がないことと保育料が負担になっていると感じる。

ひまわりランドのお父さん利用はほとんどないと思うが、土日のサンピラーパークはお父さんが多くいる。サンピラーパークには専門職はいないので、子育て支援センターが土曜だけでも開いていれば専門職とお父さん、お父さん同士がつながるのではないかな。そのような環境があってもいいと思う。

総合計画の重点プロジェクトは厳密には全部にマルがつくと思うが、三重丸、◎、○みたいな見せ方をしてもいいと思う。

(事務局注：前期計画では各プロジェクトにつき、5つの基本目標のうち3つに○をつけていた。)

市立病院の医師数は多いが開業医は減っている。閉院してそのまま残っている病院施設を使って、市立病院の先生を派遣した診療体制はどうか。また、風連で実施している往診を名寄でもしてもらおう仕組みはできないか。風連地区のように地域毎にそういう医師がいて、全体を診ていただける医師がいて、市立病院のサテライトでもあれば安心。

高齢者を労働力として考えるのもいいが、もう少し緩い連携、1時間でも2時間でもできる範囲で社会に貢献してもらおうやり方もあると感じた。昔保育士だったという方が土日に少し働いて隙間が埋まればうまくいくのかもしれない。緩い連携で少しの隙間埋めが有効かもしれない。自助公助共助。自助の部分のちょいサポートを具現化してほしい。

農協と大学で考えてくれた学生の農業アルバイトはとてもいいと思う。学生からは「農村は自然があり生きている感じがしていい」という言葉を聞き農家としては元気をもらえた。大学生だけでなく農業の担い手として新規就農される方をどんどん受け入れていく方法はないか。季節労働者を夏は北海道、冬は南で観光、または夏は農業、冬は除雪など労働力を確保する対策を考えて欲しい。人手を農業だけでなく全体で回していけないか。

空き家が多くあるので活用して移住してもらうことでうまく回ればと思う。持ち主に管理させながら保存できればいいと思うが、管理できていない危険家屋は潰していくしかない。管理責任をある程度押し付けながらやっていかないといけない。

田中角栄の列島改造論の時代の原野商法で市外や道外に居住する者に売られた山の土地が荒れている。図面上で区画されているが、子や孫の世代になり所在が掴めなくなっている。補助制度があるから林業、財産、山をなんとか守れている。

この地域にこんなに森林資源があるので、林業のざっくりとした良いイメージ作りをしていくことが大切。木彫りやククサ等木材加工文化と林業がマッチングすると素敵だと思う。

移住は観光客が来るようにたくさん来るわけではないが、移住者が移住してよかったということを発信してもらうことで、良い連鎖につながればいいと思う。

最近、来年再来年の経営のことを考える事が多い。自分は20代であるが年が近い人でも20歳以上離れている。地域のことを考えてたら40代、50代になった時にどうなっているんだろうと思う。今は、地域おこし協力隊など国の制度を活用して地域に人を増やすチャンスだと思う。地域おこし協力隊だと国の就農の制度よりもっと広い範囲で受け皿となっているが、これを国がやめたら地域にどうやって新規就農者を受け入れられるか考えたときには大変だなと感じるので、今頑張って受け入れてほしい。仲間がいないと自分たちの経営も持続していけないし、地域でやることもあるので、就農者が少しでも増えたらいいと思う。

名寄市は1自治体1JAで、中規模程度の農協ですが、もち、アスパラ、スイートコーン、カボチャなど有力な全国に誇れる作物を作っていただいている。農協と行政が日頃から連携を密にして取り組んでいる。

Uターンで後継者が戻ってくるというのはハードル低いが、Iターンの人たちに優しい周りのお節介があるまちだとPRできれば、うらやましいと思ってもらえて、興味のある人たちにつながるというステップを踏めると思う。実際に就農してうまくいったというのを宣伝媒体にして、どこにでもいる予備軍にそのつながりから宣伝できればいいと思う。住みやすいまちで農業やって、いい環境であることを広報・周知できればいいと思う。Iターン者はいいアイデアをもっていると思う。

地域おこし協力隊などの制度を使えば昔より、農村地区での新規就農がしやすい状態になっていくのではないか。親の流れで就農するより移住者は大きな決断が必要である。

法人化すれば会社のような雇用形態になり来たい人もいるかもしれない。しかし、法人は増えているが人を雇用するまでいっていない。法人化で雇用をしているのは酪農くらいで、通年雇用する体力がなかなか無い。冬期間の仕事が問題である。

米なら米、とか方向が1つにまとまれば楽だけど。みんなそれぞれどうやって儲けようかと考えているので、同じ方向を向けるなら法人化も可能かもしれない。最初から法人として従業員雇う所がスタートだととっとし早さはあるけど、今いる人でやろうとするとなかなか難しい。昔は共同で作業をしていたが、今は個別に大きな機械で作業をしている。一緒にやろうとすると同じ考え、同じ世代とかでないといけない。

この年になって法人化をどうやっていいかわからないと聞く。

すでにある農家で法人化するメリットや法人化までの道のりについて誰に聞けばいいか。法人化した人の話を聞く場があれば聞いてみたい。

法人化は中々イメージできないが、これから農家数が減る中で大きな選択肢になりうる。最終的に6次産業化とかが成功例になると思うが失敗例からも学ぶ必要があると思う。

市長との意見懇談会（大学生）

6月19日 18時30分～

子育て支援の課題について、つながりが限定的になっているなという印象を持った。親子お出かけバスツアーでは高齢者との関わりだけでなく、いろんな世代の方（若者・大学生など）と関わっていった方が地域で子育てするためにはいいと思う。

名寄市は住みやすくて大家さんとかも優しい。市で海外留学などの取組をしていれば参加したい。海外の方とコミュニケーションをとれば視野も広がるし、子どもたちと関わる仕事をするにあたって見方が変わると思うし、グローバルな考え方もあればいいかと思う。

名寄市は一部の地域で治安が悪いと聞いたことがあり、一人暮らしの大学生としては怖い。道外出身者であるが地元の高校は人数が少なく、郊外からの通学にスクールバスが使えたり、高校でも給食が出たり工夫していた。また、希望者がアメリカとかイギリスに行けるという制度もあり、海外含め色々な人と話をして、経験ができる機会があればいいと思う。

大学ではボランティアの募集もチラシやLINEで宣伝しているので何個か参加をしているが、地域の人と関われる事がいいと思う。名寄は人の温かさを感じるし、学校にいないだけでは関われない大人との関わりも大学で与えてもらっているのでもいいと思う。社会保育学科でなくても子どもと関わったり、社会福祉学科でなくても地域の人と関わるのでいいと思う。小さいまちだからこそ多くの人と知り合えるいい環境だと思う。

寮は気密性が高くて喉がカラカラになる。夏はサーキュレーターと扇風機を置いても暑い。3階に住んでいるが、窓が少ししか開かないので、可能であれば窓を半分くらい開くようにしてもらいたい。子どもたちと関わるイベントもあるが、バイトを2つかけ持っていることと、社会保育学科の学生は忙しくて行けていないもどかしさがある。

名寄市は寒暖差が大きく、交通の便が悪い。大学生の間で話すのは映画館などの娯楽施設やスターバックスコーヒーなどがほしい。しかし、娯楽施設などはないからこそ家に集まりパーティー（たこ焼き、チーズダッカルビなど）ができています。

友達が遊びに来た時に案内する場所がなくて、PRは難しいと感じた。

チャレンジデーや駐屯地の周年行事など名寄の人はイベントに積極的に参加するという印象。名寄の広報誌を見るが、見てもらうための工夫がされていて良い。手話の特集も好き。

学生の多くは地元に戻ってしまう。せっかく名寄の大学に来てここに住んだので、名寄に就職する大学生が増えればいいと思う。4年間は学校とバイトの日々だと思うが、名寄市に住んでいるからこそできる経験もしてもらいたい。

冬に名寄で免許を取りましたが、交差点に雪が堆積していて視認性が低く、初心者は怖くて前に出られない。除雪は良いが排雪をもう少ししてほしい。寮のコンロが電熱線で温まるのが遅く、かつあまり熱くならないので料理がしにくい。コンロは2口ほしい。学外に勉強ができるカフェやみんなで食べに行くときの飲食店の選択肢がほしい。

将来保育園を建てたくて、保育園無償化などの制度について名寄で実施していることを知りたい。また、保育について海外で研修することがあればいいと思う。

●保育園に関する情報を提供する。(国や市の助成制度など)

出身地(道外)には火力が高いごみの焼却施設がある。今後施設の建設に使うお金をごみ処理施設建設に使えばいいと思う。近隣のまちから委託を受けられれば収入にもなる。

★進路について

名寄は障がい者の施設や事業が充実しているので、これを前面に押し出し、学生も参加できるようにになったらお互いに良い影響があると思う。

名寄は保育のまちというイメージがなくて、社会保育学科の人が就職できる場所が思いつかない。就職先も病院ならあるが。名寄の保育ならここというのがあればと思う。

名寄の保育所・幼稚園を一切知らない。知っているのはひまわりランドだけ。看護は東病院、市立病院で実習するが、社会保育学科は実家から通える範囲内での実習になるため市内でのインターンシップ、研修があれば学生も名寄市に残りやすくなるのでは。

●名寄市内の保育所・幼稚園で実習を受け入れられないか。

奨学金を借りているので、返済をサポートしてくれている県や市を探していて、今年から礼文町が保育士のサポートしている。公務員志望でいきたいが、名寄だと奨学金支援がない。

試験が複数回あれば名寄市も受けようかなと思っている。看護学科で市立病院に就職すれば卒業後 3、4 年働くと奨学金免除の制度が利用できるが、他の学科にはない。名寄市では支度金 10 万円はあるが、奨学金支援は 2/3 補助があっても公務員は対象外である。奨学金返済に手厚い補助をしてもらえれば名寄で定住していいと思う人が増えると思う。